

入学希望の皆様へ	在学生の皆様へ	卒業生の皆様へ	企業の皆様へ	地域の皆様へ	教職員の皆様へ		
ホーム	長崎大学について	学部・大学院・附属施設	修学案内	学生生活	研究活動・産学官連携	就職情報	入試情報

ホーム > 長崎大学について > 大学からのお知らせ > ニュース&ピックス一覧 > IARC(国際がん研究機関)環境・放射線部長らが片峰学長を表敬訪問

長崎大学について

IARC(国際がん研究機関)環境・放射線部長らが片峰学長を表敬訪問

学長メッセージ
大学からのお知らせ
ニュース&ピックス
イベント情報
学術情報
公開講座
広報誌
施設貸出案内
宿泊施設「親月荘」のご案内
東京事務所(長崎大学教職員・学生・OB専用)
調達・工事情報
教職員採用情報
大学案内
理念、ミッションの再定義及び特色
ロゴマーク・学歌など
寄附金・共同研究・受託研究
情報公開・個人情報保護
数字で見る長崎大学
大学点検・評価
卒業生向け情報
国際戦略

 いいね! {0}
  ツイート {2}
  G+1 {0}
  Bookmark {0}

2015年06月08日

6月2日(火)、International Agency for Research on Cancer (IARC、国際がん研究機関)のDr. Joachim Schüz環境・放射線部長、Dr. Ausrele Kesmeniene同副部長、及びTurku 大学付属病院の医師でIARCコーディネーターの Dr. Eero Suonioが片峰学長を表敬訪問されました。IARCは、フランスのリヨンにあるWHO(世界保健機関)のがん研究専門機関です。さまざまな国の研究機関と共同で世界がん登録の整備公表や疫学研究に取り組んでおり、長崎大学原爆後障害医療研究所ともチェルノブイリ原発事故後の健康影響に関する共同研究を行っています。今回、Schüz部長らは、原爆後障害医療研究所の関係者と放射線と健康リスクについての欧州プロジェクトの協議、及び大学院セミナー講演と若手研究者の交流活性化の為に来学されました。



懇談風景

片峰学長との懇談では、山下理事からIARCによる福島原発事故後の支援が紹介されたほか、Schüz部長からIARCの組織体制などが説明されました。片峰学長が長崎大学における成人T細胞白血病の地域研究と介入予防の成果などについて説明されると、Schüz部長らは大変関心をもたれ、来年6月予定のIARC創立50周年記念行事の紹介もありました。



IARC関係者との記念撮影

[IARCホームページ](#)

[このページの先頭へ](#)

| [プライバシーポリシー](#) | [サイトポリシー](#) | [免責事項](#) |

| [ホーム](#) | [長崎大学について](#) | [学部・大学院・附属施設](#) | [修学案内](#) | [学生生活](#) | [研究活動・国際交流](#) | [就職情報](#) | [入試情報](#) |

国立大学法人 長崎大学:長崎大学広報戦略本部 〒852-8521 長崎市文教町1-14

Copyright© 2010 Nagasaki University, All Rights Reserved.